

JICA 研修員との異文化理解交流プログラム 2019

1. 実施日時 10月 15日 (火) 10:30—16:30
2. 参加生徒 グローバル・フロンティアコース1年生25名、2年生24名
3. 使用言語 英語
4. 実施場所 水戸啓明高校 会議室、教室、書道室、作法室、剣道場
5. 概要

JICA 研修員は、JICA（国際協力機構）が農業、工業、開発技術など日本の先端産業技術習得を目的として世界80以上の開発途上国から研修生として3か月から1年程度受け入れている。今回来校した研修員は、つくば市にある国土交通省国土地理院で測量事業や管理を学んでいる。研修の合間を縫って学校交流のために来校頂いた。

今回来校した研修員は、10か国12名であった。

 - ・バングラデシュ（2名）
 - ・ブータン（1名）
 - ・マダガスカル（2名）
 - ・ミャンマー（1名）
 - ・ナイジェリア（1名）
 - ・サモア（1名）
 - ・タンザニア（1名）
 - ・東ティモール（1名）
 - ・ウクライナ（1名）
 - ・ベトナム（1名）

いずれの研修員も出身国では国家公務員や研究者の立場にあり、英語能力は高く、生徒が取り組んでいる世界の問題の課題探求学習のトピックにも関心は高かった。
6. 日程

10:30 研修員到着

10:40 オープニング・イベント 研修員紹介、生徒の歓迎のことば
学校紹介 DVD など

11:20 Session1 研修員1名+生徒4名のグループで、自己紹介やそれぞれの国の文化や特産品について話した。

12:00 Session2 各グループで世界が抱える問題について話し合った。特に環境や国際支援、平和問題は熱い話し合いが行われた。

12:40 昼食+懇談 グループごとに研修員と食事を囲み、懇談した。

13:20 日本文化体験 研修員が書道と華道に分かれて体験した。専門の教員と書道部・華道部の生徒がサポートしました。

14:20 校内ツアー 生徒が研修員を案内しました。授業見学や施設を行い、中には授業に参加した研修員もいました。

15:00 研修員と生徒が一緒になって「ソーラン節」を踊りました。

15:40 クロージングイベント 生徒代表のあいさつや研修員からのメッセージが話されました。さらに、研修員にプレゼントが贈られました。

16:30 生徒に見送られる中、研修員が JICA 筑波センターに帰られました。

7. JICA 研修員との交流会の様子



JICA 研修員の到着と出迎えの生徒



オープニングイベントが始まります



研修員は出身国の国旗を持って自己紹介



多くの国々から来ていただきました



研修員を囲んで自己紹介しました



会話はすべて英語です



タンザニアについて話してくれました



PCでウクライナの紹介です



研修員の皆さんもたくさん準備してくれていました



日本文化の紹介にオセロゲーム



ナイジェリアの民族衣装の説目ですね



ブータンの民族衣装も色鮮やかです



マダガスカルの研修員の誕生日 "Happy Birthday to you"



日本の給食は珍しいようです



食事中も会話は尽きないようです



食事中もPCを開いて説明の準備



華道を選択した研修生、初めての体験だそうです



華道部顧問の先生も英語で説明しました



華道部の生徒も英語でサポートしました



研修員のよい思い出になったのでしょうか



書道を選択した研修員、こちらも初体験です



書道部の生徒のサポートで上手に書けました



書道部顧問の先生も英語で教えました



よい思い出になったのでしょうか



「ソーラン節」をみんなで踊りました



研修員も覚えが早いようです



みなさんすばらしい踊りを披露です



楽しそうに踊る研修員と生徒達



踊り終わって、みんなで記念写真



畳の部屋で Wrap Up Meeting



研修員から生徒にメッセージが贈られました



部屋の端に移動してあいさつ、日本流ですね

8. 交流会を終えて、生徒のコメント

- ・研修員さんの英語が上手なのは驚いた。日本人にとっても英語は第二言語なので励みになった。また、英語が話せればどこの国の人とでもコミュニケーションできることを今日は実感した。
(1年Kさん)
- ・校内ツアーのとき、研修員の方は色々なものに興味を示していました。案内している私たちに出身国の学校のことを話してくれて、私たちもよい交流ができました。(2年Nさん)
- ・私たち高校生と研修員さんとはかなり年齢差があったのにもかかわらず、親しくしてくれた。交流は国と国ばかりでなく、年齢差も Age free な感覚でないといけないことを知った。(2年Gさん)
- ・今日の交流で一番印象に残ったのは、研修員さんと一緒にソーラン節を踊ったことです。研修員さんは初めての体験にもかかわらず、恥ずかしがらずに一生懸命踊ってくれました。交流会が始まる時、JICA から研修員さんに同行してきたスタッフの方が、”Don't be shy!”と話していましたが、このことが国際交流の基本なのだと思います。自分も Don't be shy. を心掛けて活動しようと思いました。
(1年Sさん)